

(公社) 熊本県建築士会 女性部会 ～かわら版～

第20号 令和1年10月 発行

◆住まいづくりの無料相談会◆

毎月第4土曜日の13時～16時、鶴屋デパート本館5階
インテリアカウンターにて無料相談会を開催しております。
みなさんも相談員として登録してみませんか！

<対応して下さった相談員の皆さん>

- 7月 白浜美奈子さん、松永直美さん
- 8月 田中弘子さん、吉田智佳子さん、
- 9月 持田美沙子さん、永井晶子さん

ありがとうございました。



※上記の相談会が、今年20周年を迎えるに当たり、その歴史をまとめようと、手書きの相談表として保存されているものを、皆で手分けしてデータ化し、分析を予定しています。女性建築士の皆さん！一緒に活動しませんか(*^_^*)

◆「和の空間見学会」報告※CAFE みなもと編

8月18日(日) 午前 天候曇り

五木村「CAFE みなもと」川辺川ダム建設により水没予定の建物を移設、増築後民宿として利用されていたものを、学生や地元村民によるリノベを経て現在の姿となりました。ここで働くのはU・Iターン者、インターンの学生たち。店内には土産物の他に日用品も並べられており、手作りの、人々に寄り添った新しいカタチの「和の空間」を感じることができました。取材後美味しいランチを頂き、椎茸の香り高いスープに特に感動しました。現地向かいには白滝公園がありちょっとした避暑地ポイントです。



◆「和の空間見学会」報告※川尻公会堂・瑞鷹本蔵編

同日午後 天候雨模様 場所を川尻町に移し「川尻公会堂」と「瑞鷹本蔵」を見学しました。

川尻公会堂は平成25年に行われた耐震診断の結果、使用禁止となりました。その後建て替えの提案が熊本市からなされたものの、地域住民の要望により、80帖の大広間に耐震壁や列柱鉄骨などを設置することなく、現況の姿で残すための耐震補強が施されています。

瑞鷹本蔵は熊本地震により被害を受けた建物を、解体ではなく復旧している様子を拝見しました。設計を担当されたすまい塾古川設計室の古川様のご説明を頂き、より有意義な時間となりました。

企画委員会では今後もこのような見学会を企画して行きます。一度参加してみませんか？



わたしたちは「いつでも、誰でも、気軽に」をモットーに、全員が参加できる部会活動を目指しています。女性部会の最新情報はfacebookで随時更新中！
【熊本建築士会女性部会】で検索♪

女性部会FBのQRコードはこちら👉



平成 28 年 4 月 14 日に前震、16 日には本震と 2 度の大きな地震に見舞われた熊本地震から 3 年半が過ぎました。私たち女性建築士がどのように感じ行動したのか、記録の第 9 弾です。

熊本震災～地震直後～

できること

宇城支部 永里 史



4 月 16 日未明、4 月 14 日に発生した前震による被害調査で動き回り疲れたからか本震の揺れにも気付かず、家族に起こされ目を覚ますと足元に家具が倒れていた。その光景を目にした瞬間、ようやく自分自身が激しい揺れに襲われていると気づき外へ逃げた。

その後近くの学校に避難しテレビで被害状況を初めて知った。私の家の周りに倒壊した家は無かったためテレビの映像に衝撃を受けた。

家に戻り、まず電気・水道の状況確認、この時点では共に使用出来ていたけれどちに断水が続き水道のありがたみを実感した。次に被害の記録、片付けとやる事は数多くあった。そんな中で 1 番厄介だった事は瓦が落ちた屋根にブルーシートを掛けることだった。緊急地震速報が何度も鳴り響き激しく揺れる中、木造 2 階建ての屋根に登りシートを被せた。無茶をしたなど今でも思う。

家の片付けが落ち着いた頃、私の住む宇土市から『新庁舎建設に係わるアンケート(無作為に抽出され 4 月 14 日に発送)』が私に届いている事に気づいた。

現在の庁舎が耐震性に問題がある事は以前から知っていたので、新庁舎建設の構想が動き出した事自体はとても嬉しい事だったが、庁舎が崩壊した直後なだけにやるせない気持ちになった。けれどその時の正直な気持ちで回答したので市民の意見として届いていると信じた。

今回の地震で多くの物を失ったけれど、色んな方から支援や励ましを頂いた事に感謝しかない。

これからは頂いた恩を返せるよう、様々な活動に参加していきたいと思う。

女性部会では熊本地震の体験やその後の活動を書いて下さる方を募集しています。

(公社) 熊本県建築士会事務局までご連絡ください。

TEL 096-383-3200 Mail LEBO03540@nifty.com